

比較分析 概要-1

比較分析は、CUBIC上のデータを更に有効活用頂く為に、様々な比較や変化を追うことができる機能で、新しい帳票が追加されます。主に4種類の分析が行えますが、組み合わせによっては応用的な活用ができます。

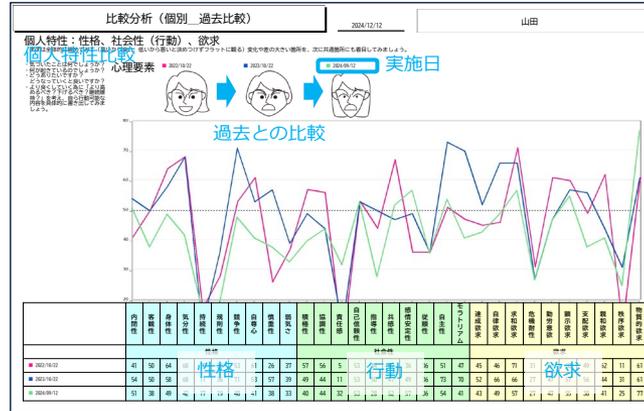
※分析内容に性格タイプマトリクス・RD分析が含まれますので、比較分析を出力する際、性格タイプマトリクス RD分析を行っていないデータはそれぞれ課金が発生しますが、性格タイプマトリクス・RD分析済のデータでは追加の課金は無くご利用いただけます。

●活用する上でのポイント

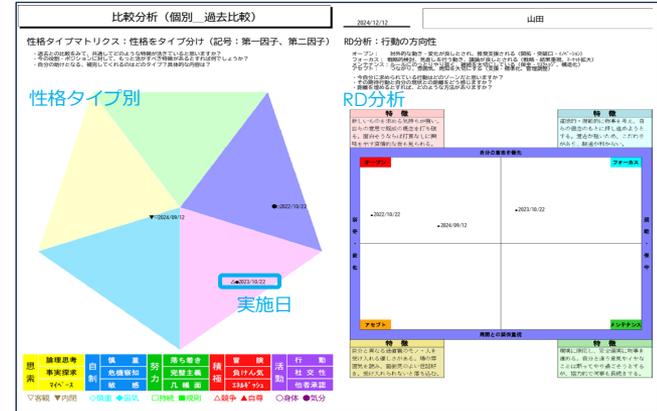
- ・時系列で使っていく場合は、名前、メールアドレス、個人コードなどは変更せず、共通で使っていくと便利です。
- ・分析には、区分名をあらかじめ登録することで、よりわかりやすく有効な分析が行えます。
区分名例：内定者、ハイパフォーマー、離職者、役職など
- ・比較分析の「グループ×グループ」は選択した分類・区分名が表示される為、分類管理画面から「2025採用」などわかりやすい名前への変更しておくといいです。また、親分類を選ぶと下層すべて選ばれます。親分類もわかりやすい名前「全社」などつけておきましょう。

●育成・自己成長に活用したい・・・過去の自分と比較し、経年変化を追いかけ、育成や自己成長に活用（本人へのメール返却機能付）

⇒「個人の過去比較」

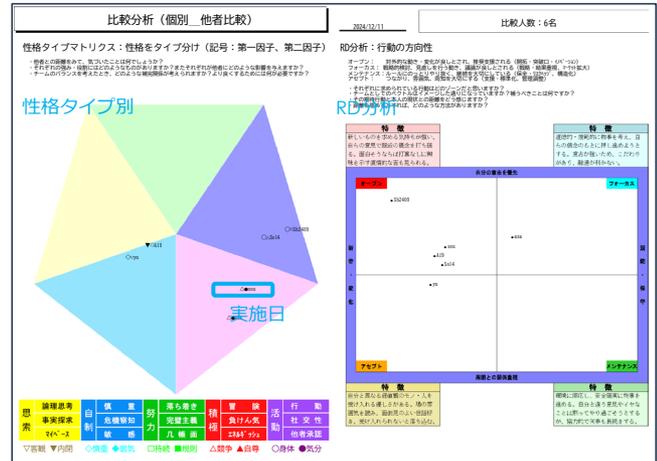
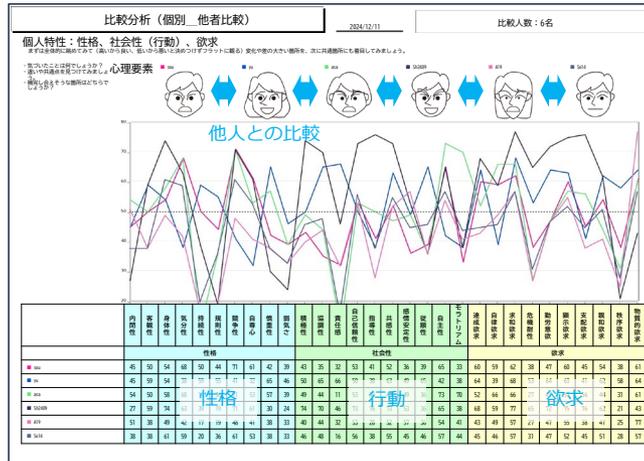


※「過去比較」のみ、古いものから順に、顔が右方向に、グラフが下方向に並び、それ以外は選んだ順に並び
※「過去比較」の表記名は、はじめに選んだ実施内容の名前で表記される



●複数人を比較、選抜に活用したい・・・複数個人を同時に比較、採用・リーダー選抜や特性把握などに活用

⇒「個人間比較」



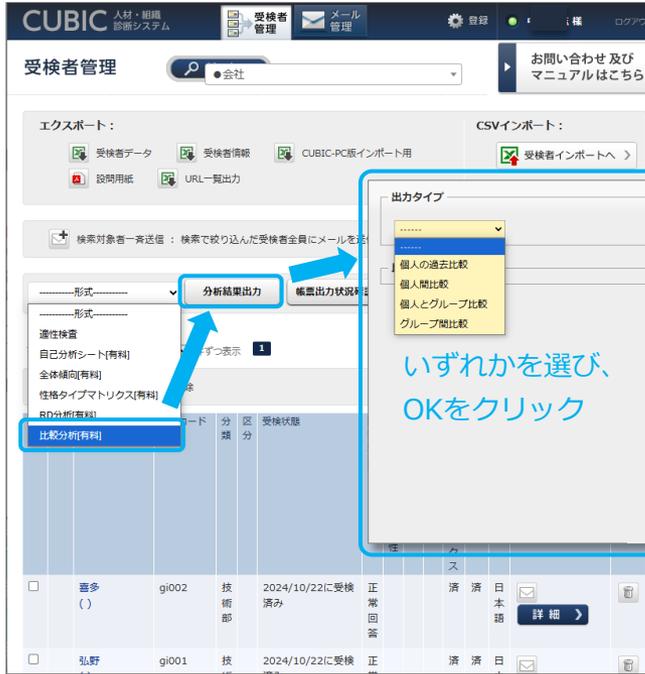
比較分析 操作方法

目的に応じて、

「実施内容」→「形式」→「比較分析」→「分析結果出力」

を選択、各種設定を操作

結果は「帳票出力状況確認」にてダウンロード



「個人とグループ比較」

- 1.実施内容を選択
- 2.対象者（右側）を選択。
- 3.比較したいグループを選択。
(実施内容→分類or区分を選択)
最大5グループまで選択可能
※選択順に沿って結果表示されます



「個人の過去比較」

- 1.実施内容を選択
※複数人の出力をしたい場合、実施内容の中で複数人が登録されている実施内容を選択
- 2.対象者（右側）を選択。
最大50名まで選択可能
- 3.出力したい過去の実施内容を選択。
最大過去6回分まで選択可能
※古い順に結果表示されます
※2にて選んだ表記名で結果表示されます
※帳票出力状況確認から本人へ結果送信も可能



「個人間比較」

- 1.実施内容を選択
- 2.対象者（右側）を選択。
最大6名まで選択可能
※選択順に沿って結果表示されます



「グループ間比較」

- 1.実施内容を選択
- 2.対象（右側）を選択。
更に「分類」「区分」が設定されていれば、その中から選択。
(実施内容→分類or区分を選択)
最大6グループまで選択可能
※選択順に沿って結果表示されます

